

令和8年5月17日(日)

花まつり

白象に健康を願い
お釈迦様のお誕生日を
お祝いしましょう!

午後13時30分～花まつり法要
法要終了後 花まつり生ライブ
お寺の四姉妹バンド/SHAKA♡SHAKA
花まつりお子様参加イベント
～スーパーお寺ワールド～

※午後からの法要となりますのでお食事を済ませてからご来場お願い申し上げます。

道しるべ

宮の森 大乗院

令和八年
春号

大乗院寺報 令和8年4月
〒064-0958
札幌市中央区宮の森1263-13
電話(011)641-8904
FAX(011)631-0004
E-mail
yakuou@triton.ocn.ne.jp
第103号

活動のご案内

薬王寺では地域に密着したお寺を目指すため、
様々な活動を行っております。
皆さまのご参加、お待ちしております。

空手教室

心と体を
鍛えましょう
毎週月・木・土曜日
午後5時より お寺



共に心と体を鍛え「自努力」を磨きましょう!初心
者大歓迎です。いつでも見学に来てください。幼
稚園のお子様から始められます。

坐禅会

体と心を
調えましょう!
毎月1日・15日
午前7時より 参加無料



忙しい毎日の中、静かな時間を過ごしませんか?
坐禅は身と息を調え、心を調えます。初めてでも
大丈夫!座りやすい服装でおいでください。

ご詠歌

仲良く楽しく
唱えましょう
毎週金曜日
午後1時より 会費あり



ご詠歌を聞かれた
事がありますか?亡
き人への追憶の思
いに涙があふれて
きます。歌の得手
不得手は関係あり
ません。一緒にお
唱えましょう。

護持会費納入のご案内

大乗院護持会費 年間1万円

いつもお寺におこころ寄せいただき感謝申し上げます。
お寺では護持会費の口座振替をお願いしております。口
座引き落としは毎年1月となりますので新たにご利用
される方はお寺までご連絡ください。

護持会費について

護持会費(年間1万円)は、原則として納骨堂やお墓の有無
に関わらず、お寺とご縁をいただき、ご法事やお参り(お
盆・ご命日等)をご希望される方は、必ず納めていただ
いております。
現在、未納となっている方には順次ご案内を郵送させ
ていただきますが、今まで御存知なかった方や代わり等
でよくわからなかった方で、今後もお寺との付き合い
をご希望の方は、ご相談させていただきますのでご連絡
ください。
口座振替(毎年1月27日引き落とし)もご利用いただけ
ます。ご希望の方はお申し出ください。
尚、お引越等でご連絡先に変更がある場合、今後、新聞
(道しるべ)等ご案内がご不要の方は必ずお知らせください。
ご理解、ご協力の程宜しくお願いいたします。

※現在新聞(道しるべ)やお寺からの案内物がご自宅に届いてる方で、
今後お盆のお参りや回忌のご予定の無い方は発送を中止致しますの
で合わせてご連絡ください。

8月の年忌法事につきまして

お盆期間中の8月は、ご法事をお受けする事ができませんので、繰
り上げをお願いしております。
そのため、例年7月はご法事が集中いたしますのでお早めにご連
絡をお願い申し上げます。
なお、四十九日法要につきましてはお勤めにあがりますが、お時間
につきましてご相談させていただきますので予めご了承ください。

8月日程

- ◎ 棚経期間 1日～12日
- ◎ お墓参り期間 13日～16日
- ◎ 法要の日 15日・20日

※繰り上げなどご不明点がありましたらお気軽にご連絡ください。



15日はお亡くなりになられて初めて迎えるお盆の方のみの御供養



20日は全ての御先祖様に感謝を捧げるお盆供養

而今

住職 田中清元

札 幌宮の森にも春到来です。桜の花びら
が風に舞い、境内のあちこちに新しい
命の息吹を感じるこの季節、皆様には御健勝
にお過ごしのこと存じます。

高祖道元禪師は『正法眼蔵』の中で「而今
(にこん)」という言葉を用いられました。「而
今」とは「まさに今、この瞬間」という意味であ
ります。過去を悔い、未来を憂うのではなく、
ただ今この瞬間を丁寧に生きることこそが、
禅の根本の教えであります。春の花は昨日のこ
とを問わず、明日を気にすることもなく、ただ
今この時に精一杯に咲いております。その姿こ
そ、仏の姿そのものではないでしょうか。

さて、五月十七日は当寺の花まつり(釈尊降
誕会)です。お釈迦さまは今からおよそ二千五
百年前、インド北部(現在のネパール)ルンビ
ニの花園にお生まれになりました。誕生され
るやすぐに七歩あゆまれ、天地を指さして「天
上天下唯我独尊」とおっしゃられたと伝えられ
ております。この言葉は「この世界のすべての
命は、等しくかけがえなく尊い」というお釈迦
さまのいのちの宣言であります。本院では花御
堂に誕生仏をお祀りし、甘茶をそそいでお祝い
いたします。どうかお子様やお孫様とともに
参りいただいて、ひとりひとりの命の尊さを
一緒に感じていただければ幸いです。

翻って今の世の中を眺めますと、心穏やかで
はいられないことが多くあります。世界では戦
火がまだまだやまず、国際情勢は混乱を続けて

おります。国内では物価の上昇が家計を圧迫
し、少子化・人口減少による社会の急速な変
化も大変な状況です。また人工知能(AI)の
急速な進歩は、私たちの暮らしや働き方に大
きな影響を与えております。その変化の速さ
に戸惑いを感じる方も少なくないことと思
います。

しかしこのような時代であるからこそ、私
は「而今」の教えが心に響いてなりません。今
この瞬間にできることを丁寧に生かす。それが
禅の生き方であり、混乱の時代を生き抜く力
になるのではないのでしょうか。

花はどんな厳しい冬の後にも、必ず咲き誇
ります。桜が散り、やがて青葉の季節を迎え
るように、私たちの命もまた、大なる自然の
いとなみの中に生かされております。どうか
皆様、花まつりのご縁に足を運びください
ませ。感謝のこころで、かけがえのないこの命
の尊さをお祈り申し上げます。

心よりお祈り申し上げます。
なお、花まつり法要の後には、当寺ゆかりの
子供四姉妹のバンド「SHAKA SHAKA」による生
コンサートを開催いたします。春
の陽気の中、音楽の調べとともに心ほぐれるひ
とときをお過ごしただければ幸いです。老
若男女どなたでも大歓迎。法要後もどうぞお
楽しみください。

合掌

法要のご相談や行事の確認も、 LINEでいつでもお気軽に。

QRコードを
読み込んで
友だち登録



登録はコチラ

@145illbx
でLINE ID検索



- ・ お寺からののお知らせも LINE で
- ・ チャットでお問合せできます
- ・ 御祈禱のお申込みもこちら
- ・ 塔婆供養、万灯供養も
- ・ Google Map ヘルプ
- ・ 公式サイトヘルプ

花まつりとは



「花まつり」とは、仏教の開祖・お釈迦様（ゴータマ・シッダールタ）の誕生日をお祝いする行事です。

お釈迦様は今から約2500年前、現在のネパール・ルンビニの美しい花園でお生まれになりました。お母様の摩耶夫人（まやぶにん）が、咲き誇るアソカの花に手を伸ばされたその瞬間、お釈迦様はこの世に生を受けられたと伝えられています。

生まれてすぐに七歩歩まれたお釈迦様は、右手で天を、左手で地を指さし、「天上天下唯我独尊（てんじょうてんげゆいがどくそん）」と宣言されました。これは「この世に生きるすべての命は、ひとつひとつがかげがえのない、尊い存在である」という深い意味を持つ言葉です。争いや差別が絶えない世の中にあつて、この言葉はいつの時代も私たちの心に静かに響いてきます。

その誕生の瞬間、九頭の龍が天から現れ、甘い清らかな雨を降り注いだといわれています。この故事にちなみ、花まつりでは誕生仏（たんじょうぶつ）に甘茶をそそぐ風習が生まれました。甘茶には「体の悪いところが癒される」という言い伝えもあり、お参りの際にはぜひ一杯いただいでください。



お釈迦様の誕生日は4月8日。ちょうど桜の花が咲き誇る季節と重なることが多く、古くから「花まつり」と呼ばれ、日本のお寺で大切にお祝いされてきました。仏教が日本に伝わったのは6世紀ごろのこと。推古天皇14年（606年）には、すでに大規模な花まつりが行われていたという記録が残っており、1400年以上にわたって受け継がれてきた行事です。

農村では、花まつりは農作業が始まる季節もつて世界の恒久平和や参列された方の平安などを祈り申し上げる法要です。

お経本を左右前後に振る「転読」、この風にあたり、2年間は無病息災と言われております。当山住職田中清元導師より大般若理趣分を肩に頂戴し、無病息災・厄難消除・心願成就を願います。この度御祈禱を申込された方のお名前をおひとりおひとり丁寧に読み上げ致しました。

最後に参議院議員の鈴木宗男さんにご挨拶頂きました。そして本年およそ7年ぶりとなりました「新春福引大会」を開催致しました。誠心堂様をはじめ、吉兆庵様、北幹警備様、ダスキン様、フジプロパン様に協賛頂きました多数の景品をお渡し出来ました。

抽選の最後には副住職夫妻からそれぞれ特別賞、住職奥様賞と続き最後に御住職賞をお渡し致しました。

お寺のびぎんじ

令和8年1月1日

除夜法要・正月修正會

本年は、副住職による大鑿第二声よりはじまりました。修正會「修正會（しゆしやうえ）」新しい年の始まりにあたり最初に営まれる法要です。新しい一年間の世界平和や檀信徒皆様の厄災消除・仏法の興隆を祈ります。御住職のご導師のもと、修正會の御祈禱をお勤めいたします。翌1月1日朝に本年初めの本朝課を行いました。



大般若祈禱會

令和8年2月11日

建国記念日の本日、当山恒例の大般若大祈禱會を厳修いたしました。

先ずは山内にて1年間御守りくださった古いお札・御守等の浄焚（お焚き上げ）供養を正面玄関前に於いてお勤め致しました。

続いて釈尊涅槃會法要（正当は2月15日）をお勤めいたしました。次に、北区禅林寺日比健士御住職より、御法話を頂戴致しました。当山総代で太陽グループ会長東原敏郎様よりご挨拶を賜りました。いよいよ、御住職の御導師により大般若祈禱會をお勤め致しました。

『摩訶般若波羅蜜多經（大般若經）』の経文をお唱え（転読）することにより、その功德を

節の節目でもありました。「お釈迦様が山から里へ下りてくる日」として農耕の神とも結びつき、地域ごとにさまざまな形で親しまれてきた歴史があります。今日でも全国各地のお寺で、色とりどりの花で飾られた「花御堂（はなみどう）」が設けられ、春のにぎやかなお祝いが続いています。

今年の花まつり
2026年5月17日(日)

今年の花まつりは、5月17日(日)に開催いたします。

法要ではお釈迦様のご誕生をみんなでお祝いし、甘茶をおそそぎいただきます。ご家族お誘い合わせの上、ぜひお参りください。

法要の後は、楽しいイベントが盛りだくさん！春の一日、お釈迦様のご誕生とともに喜び、笑顔あふれる花まつりにしましょう。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

スーパードキアワールド
子どもたちよ、冒険へ！

子どもたちに大人気の参加型イベント「スーパードキアワールド」も今年初登場！お寺の境内が、楽しいゲームの世界に大変身します。いくつかのステージをすべてクリアすると、お寺の境内が、楽しいゲームの世界に大変身します。

令和8年3月20日 大乘院終活セミナー



本年、中日法要のこの日、お寺では初めての試みとなる終活セミナーを開催致しました。

北海道の高齢者人口や身寄りのない世帯など、今とこれからの北海道の現状を認識し、後見人や死後事務契約など、正しい知識を身につけ、今後の参考にして頂き、各ご家庭によって異なる問題について質疑応答を交えながら行いました。ご自身の問題や課題に取り組みやすくなったとのお声も頂き、とても有意義な時間となりました。少しでもお檀家様の心に寄り添えるお寺としてこれからもこの様な活動を行っていききたいと思います。次回開催日時は改めてお知らせいたします。

中日法要

セミナー後は春彼岸中日法要を御住職ご導師により、お勤めいたしました。彼岸（極楽浄土）と此岸（私たちが生きる現実、迷いの世界）の間には、さまざまな苦悩と

アすると、お菓子のプレゼントが待っています。ゲームの内容は…当日のお楽しみ♪ぜひお子様と一緒にチャレンジしてみてください！

SHAKA♡SHAKA ライブ

今年はお寺の四姉妹と藻南地区公認チームソング「みんなのモナミン」を歌うゴトナによる次世代ガールズバンド「SHAKA♡SHAKA」による生ライブを開催します！小中学生メンバーが昭和歌謡からポップスマで元気にお届け！軽やかで元気いっぱい演奏が、境内に響き渡ります。花まつりならではの特別なひとときをお楽しみください。



煩惱の水であふれる大河が流れているといわれています。この川を、「現世に生きる人間としての姿のまま渡るために必要な舟」として例えられるのが、仏教の「六波羅蜜行」です。人のために見返りを求めず良いことをしたり、施しをしたりする「布施（ふせ）」、自らを戒めながら規律を守り、規則正しい生活を送る「持戒（じかい）」、苦痛や屈辱を耐え忍び、寛容な心を持つ「忍辱（にんじゆく）」、怠けの心に打ち勝ち、目標に向かってひたむきに努力・前進する「精進（しやうじん）」、心の乱れと動揺を鎮め、静かな心で真理を思惟する「禪定（ぜんじやうてい）」、正しい行いをするために、仏の正しい知識を身に付ける「智慧（ちえ）」。「六波羅蜜行」とはこの6つの修業からなる行のことです。

彼岸会の期間中、中日はご先祖様に感謝し、残りの6日間はこれらの修業を一日二つずつ行うことで、仏の悟りの境地すなわち彼岸に近づくことができるとされています。彼岸会は、此岸から彼岸へ思いを馳せ、彼岸へ渡ったご先祖や仏教者の霊の安らかならんことをお祈りするのみならず、日頃見失いがちな、自分自身の立つ此岸をはっきりと見つけ直す機会でもあるのです。本年も新旧両本堂でそれぞれ施食供養を勤めました。

